

令和7年度 自己評価書

学校名	和歌山市立 三田小学校
校長氏名	市川 哲哉
作成日	令和 8年 2月26日

1 教育目標

主体的・創造的な子どもを育てる。

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> 県学習到達度調査で平均正答率が県平均を上回り、その幅を前年よりも広げる。 毎日の勉強が分かる。(児童アンケート 90%) 	<ul style="list-style-type: none"> 学校が楽しいと感じる。(児童アンケート 95%) 「みんなの道德」等の活用 100% いじめの解消率 100% 	<ul style="list-style-type: none"> 朝ごはんを食べた。(児童アンケート 95%) 積極的に運動を行うよう計画し、実践した。(教師 90%) 避難訓練において、一次避難が避難開始より4分以内に完了する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の様子がよく伝わった。(保護者アンケート 80%) ゲストティーチャーを招く等、地域の人材や文化等を学習に取り入れることができた。(教師 90%)
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ◎基礎・基本の確かな定着 ◎子ども主体の授業の推進 ○家庭学習の定着 ○読書活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ◎道徳・人権教育の充実 ◎いじめの未然防止、早期発見 ○社会性・協調性の育成 ○積極的に挨拶ができる子に 	<ul style="list-style-type: none"> ◎体力向上の推進 ◎基本的生活習慣の確立 ○危機回避能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ◎家庭・地域との連携充実 ◎保幼小の接続、中学校区における学校間連携の推進 ◎地域の資源活用の推進
取組の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援学級を含め、7回の研究授業を行った。研究主題を「全員参加の授業を通じて、考えを広げ深めていく子どもの育成」と設定し、全員参加を目標に授業の導入と授業の深まりについて研究・実践してきた。 ○朝学では「読み聞かせ、読書、視写、漢字、フリートーク」などに加えて、タブレットでの学習を取り入れ、各学年・学級の実態にあわせて行った。毎日「今日のきもち」を記録した。基礎学タイムでは算数の計算等の復習を行い、基礎、基本の定着をはかることに取り組むとともに、月曜には短期のクラス目標を設定し、金曜には、その反省を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の方々やゲストティーチャーなど、多くの人と出会うような取組を学習に取り入れた。登下校時には、見守り隊の方々にも積極的に子どもたちに話しかけていただいた。 ○校庭には委員会活動に加えて、地域のボランティアの方にも花植を行っていただき、絶やさぬように心がけた。(地域の方に種や苗を提供していただいています。)また、各学年で野菜作りも行い学習園を計画的に使用した。 ○挨拶の重要性を伝え、教職員が率先して挨拶することで、挨拶の輪が広がるよう取り組んだ。 ○教員向け人権研修として、SNSIによる人権差別についての動画を視聴し、人権問題に触れる機会を設けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○SANTA70(生活調べ)を年間3回、それぞれ続けて1週間行い、子どもたちが自分の生活を見つめ直す機会を設けた。また、その結果を保護者の方にも見ていただきコメントをいただくようにした。 ○年間3回の避難訓練(地震と津波、不審者対応、火災)をより現実的な形で行った。津波を想定した訓練では全児童による4階への避難訓練を行った。 ○交通安全協会や地域の方々を招き、例年行っている交通安全教室を実施し、正しい歩行や自転車の運転を教えていただいた。(雨天のため体育館で実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ○5年生が地域の方の田をお借りして稲作を行った。地域の方々の協力を得て、もみまき、田植え、稲刈り、脱穀、収穫したもち米で餅つきを行った。 ○学校便りを毎月発行し、連絡所にも置いたり、地区回覧板に掲載していただいたりして、地域の方々にもお知らせできた。 ○学校ホームページを活用して、学校の取組等を積極的に(毎日記事を投稿)発信した。
取組の成果と課題(評価結果)	<ul style="list-style-type: none"> ○県学習到達度調査県平均との差は次のとおり4年生 国語-4.4P、算数-0.5P5年生 国語+5.6P、算数+4.4P、理科+7.2P ○全国学力・学習状況調査全国平均正答率との差は次のとおり、6年生 国語+2P、算数+5P、理科+6P ○研究授業をはじめ、普段の授業でも、子どもたちの興味や関心を引くよう導入の工夫を各学年の子どもの発達状況に応じて展開できた。また、すべての授業でとはいかないが、子どもが自分の考えを深めるための授業の試みが行われている。 ○朝学・基礎学タイムの毎日の積み重ねが、着実に子どもたちの力となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業参観は、多くの方に参観していただいた。半面、学級懇談会への参加は少なかった。 ○1年生と地域の高齢の方々との交流を実施することができた。昔遊びや交流給食などを行い多くの方々に喜んでいただけた。 ○4年生の「わうクラス」は、犬を通して命の大切さを学習することができた。 ○5年生の米作り体験は、地域の方々のお力添えて、粃まき、育苗、田植え、稲刈り、天日干し、脱穀、もちつきまで一連の学習をさせていただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツテストの結果を見ると、50m走と握力が全学年男女を通して低くなっている。測定方法等から見直す必要がある。ソフトボール投げ、長座体前屈など、全国や県の平均値を上回っている種目もあり、さらに運動能力を高めるための意欲づけにしたい。今後も継続して取り組んでいかなければならないと考えている。 ○SANTA70については、ほとんどの保護者がコメントを書いて返してくれているが、返ってこない家庭もあり、その家庭の子どもの生活習慣が大変気になる。子どもから家庭での状況についての聞き取りを徹底していきたい。 ○基本的な生活習慣「早寝・早起き・朝ごはん」を確立できるよう積極的に働きかけていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもまつりを実施した。熱中症対策として、一部教室や特別教室を利用して行ったが、校庭や体育館でも行われ、暑さ対策が必要である。 ○5年生の稲作体験学習は地域の方々の協力が不可欠であった。今後も地域の方々に学校にかかわっていただけるよう協力をお願いしていきたい。 ○高学年は、大阪関西万博見学を受け、総合的な学習の時間において三田地域のSDGsについて学習を進めることができた。 ○小中の連携については、他校へ出向いての授業交流会は困難であり実施することはできなかった。幼少連携では、三田保育所と2回交流できた。
	<ul style="list-style-type: none"> 県学習到達度調査で、全ての学年・教科(4年国語・算数、5年国語・算数・理科)で平均正答率を上回らなかった。 毎日の勉強が分かる。(児童アンケート 低学年80%、中学年87%・高学年80%) 	<ul style="list-style-type: none"> 学校が楽しいと感じる。(児童アンケート 低学年91%、中学年94%・高学年98%) 「みんなの道德」等の活用100% いじめの解消率 100% 	<ul style="list-style-type: none"> 朝ごはんを食べた。(児童 96.0%) 積極的に運動を行うよう計画し実践した。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の様子がよく伝わった。(保護者アンケート 84%) ゲストティーチャーを招く等、地域の人材や文化等を学習に取り入れることができた。
改善方法	<ul style="list-style-type: none"> ○第一に、授業の充実。子どもたちがやりたい、取り組みたいと思える課題の設定を行い、その授業にのめりこめるような授業づくりをおこなって、主体的な子どもの学びを作り出す。 ○子ども一人一人の実情を把握し、学習内容や目標などについて工夫していく。 ○教職員が一丸となって現職教育に取り組み、その研究方向や内容を探るとともに、外部講師を招き、研修を深めていく。 ○子どもたちの学びを深めるため、問題解決的な対話を通した学びの場面を多く作り出していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自他共に大切に人権学習に関する重要性とその取組内容について、保護者に伝え続けていくことが大切である。 ○人との出会いが心の成長に与える影響が大きく、子どもたちの学習を高める効果が認められる。子どもたちの心に響く人との出会いを、ゲストティーチャー招聘によって作り出していきたい。 ○挨拶については、全教職員で範を示していき、あいさつの輪をどんどん広げていきたいと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○津波に備えた避難訓練(校舎4階への二次避難も含めて)を行った。 ○体力をつけるもとなる基本的な生活習慣の定着について、保護者へのさらなる啓発に取り組んでいく。特に、「早寝」「朝ごはん」について強く啓発していかなければならない。 ○子どもの体力をさらに向上していくために系統立てて実施している体育の指導計画を実態に即して計画を見直し、さらなる充実に取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の方々に、〇〇名人(野菜作りや裁縫など)として学校に来ていただき、ゲストティーチャーとして授業の中でさらに関わっていただける機会を設けていきたい。 ○今後も地域の方々の力をお借りしながら、防災・減災学習、環境学習等に積極的に取り組んでいきたい。 ○保護者や地域の方々に、学校の様子や子どもたちの活動の様子など、機会をとらえてさらなる情報発信を行っていきたい。

3 その他の課題

○インフルエンザによる学年・学級閉鎖が多かった。手洗いやうがい、咳エチケット、換気の励行などの予防対策に加えて、体調がよくないときの対処法などの呼びかけを強化する必要がある。